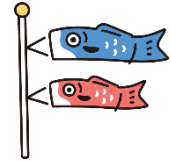




★★★

潮来保健所感染症情報メール【令和7年5月号】

★★★

◆◇
感染症発生動向◇◆
<全数把握対象疾患(2025 年 3/31~4/27(14 週~17 週))>

【潮来保健所管内】

2類	結核1件
4類	E 型肝炎2件、レジオネラ1件
5類	百日咳 30 件

【茨城県内】

2類	結核 29 件
3類	腸管出血性大腸菌感染症3件
4類	E型肝炎7件、レジオネラ症10件
5類	急性脳炎 1 件、侵襲性インフルエンザ菌感染症1件、侵襲性肺炎球菌感染症9件、水痘(入院例)3件、梅毒 23 件、百日咳 161 件、麻しん 14 件

<定点把握疾患報告状況(2025 年 3/31~4/27(14 週~17 週))>

◎感染性胃腸炎

当所管内の感染性胃腸炎の定点あたりの報告数は、第 17 週で 6.67(前週比+3.34)となっています。全国、茨城県、管内共にノロウイルス等による食中毒や感染性胃腸炎の集団発生の報告が続いており、今後の発生動向に注意が必要です。

◎伝染性紅斑(りんご病)

当所管内の伝染性紅斑の定点あたりの報告数は、第 16 週で 2.33(前週比+1.66)となっています。昨年と比較し、多い報告数が続いておりますので、今後の発生動向に注意が必要です。

★「定点把握対象疾患報告数」も合わせてご確認ください。

◆◇
はしか(麻しん)

◇◆
県内で、はしかの報告が続いており、2025 年第 17 週は 6 件の報告があり、累計 15 件と、過去 5 年間で最多となっています。はしかは感染力がきわめて強い感染症で、予防にはワクチン接種が有効です。予防接種歴を確認し、2 回接種していない方は予防接種を検討しましょう。

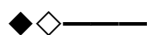
- ・症 状:発熱、発疹、咳、鼻水、目の充血など
- ・感染経路:空気感染(飛沫核感染)、飛沫感染、接触感染
- ・潜伏期間:10~12 日間(最大 21 日間)
- ・治 療:特別な治療法はなく、対症療法
- ・予防方法:ワクチン接種

はしか(麻疹)に注意しましょう！(茨城県感染症情報センター)

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/measles2.html>

麻疹での国内外での報告増加に伴う注意喚起について(協力依頼)(厚生労働省):

https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/tuuchi/documents/jimurenaku_20250319.pdf



百日咳



2025 年1月以降、百日咳の報告数が増加しており、県内の百日咳の報告数は、2025 年第 17 週に 59 件あり、累計 194 件となりました。1 週間当たりの報告数として、2 週連続で過去最多を更新し、また、年間報告数が過去最多だった 2019 年の同時期を上回る報告数となっています。

当所管内でも小・中学生を中心に報告が増加していますのでご注意ください。

百日咳に注意しましょう！(茨城県感染症情報センターリーフレット)

https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/kikaku/documents/pertussis_for_general_public.pdf

過去に配信した内容を当所ホームページに掲載しています。

https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/itaho/hoken/itakohc/category/kenko-arekore/kansenshoinfo_itakohc.html

◆◇関係リンク◇◆

<茨城県感染症情報センター>

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/index.html>

◆◇問い合わせ先◇◆

茨城県潮来保健所 保健指導課

TEL:0299-66-2174

Mail:itaho05@pref.ibaraki.lg.jp

定点把握対象疾患報告数【週別発生状況】2024年・2025年

※急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランス開始に伴い定点医療機関の見直しを実施したため、2025年第1～14週と2025年第15週以降では、定点医療機関数が異なります。

